

油谷・俵山 ふれあい体験活動

やまぐち おおみ
山口市立大海小学校

学校の概要

① 学校規模

- 学級数：8学級(内特別支援学級2学級)
- 児童数：127人
- 教職員数：13人
- 活動の対象学年：全学年・127人

② 体験活動の観点などから見た学校環境

- 北・西・南の三方を山に囲まれ、東は大海湾に面し、海岸線に沿って漁村地区を含む集落が街村形態をなしているが、児童の保護者で実際に漁業を営んでいる家庭はなく、ほとんどは市内や近隣市の会社・工場・官公署等に勤務している。
- 気候は比較的温暖で年間を通じて過ごしやすい。海に面しているが校区内に遊泳できる海岸はなく、また河川もない。
- 各学年とも単学級のためクラス替えはなく、児童の人間関係が固定化されがちである。そこで縦割り班での活動を日常的に行っている。地域住民は、学校行事等に積極的に参加し、学校教育に非常に協力的である。

③ 連絡先

- 〒754-1101
山口県山口市秋穂東2299
- 電話：083-984-2253
- FAX：083-984-4063
- ホームページ：
<http://www.yamaguchi-ygc.ed.jp/ohmi-e>
- 電子メール：
ohmi-e@yamaguchi-ygc.ed.jp

体験活動の概要

① 活動のねらい

- 自立・自律や共同の精神を培う
- 感謝・奉仕など美しい心を育てる
- 豊かな感性を育てる
- 自然を大切にする心を育てる

② 活動内容と教育活動上の位置付け

- ボランティアにかかわる体験活動
(5、6年総合的な学習の時間2時間)
- 自然に関わる体験活動
(5、6年総合的な学習の時間6時間)
(1、2年生活科2時間)
(3年総合的な学習の時間1時間、理科1時間)
- 勤労生産に関わる体験活動
(5、6年総合的な学習の時間9時間)
(1、2年生活科2時間)
(3年総合的な学習の時間1時間、4年5時間)
- 文化や芸術に関わる体験活動
(5、6年総合的な学習の時間1時間)
(3年総合的な学習の時間1時間、図工1時間)
- 交流に関わる体験活動
(5、6年総合的な学習の時間10時間、
家庭科2時間、特別活動2時間)
(1、2年生活科2時間、特別活動2時間)
(3、4年特別活動3時間)
- その他これらが複合した体験活動
(5、6年総合的な学習の時間22時間、
国語科6時間、図工科4時間)
(1、2年生活科8時間、特別活動2時間、
国語科2時間、図工科2時間)
(3、4年総合的な学習の時間10時間)

③ 宿泊先

- 山口県油谷青年の家
- 山口県長門市俵山地区(民泊、旅館泊)

1 活動に関する学校の全体計画

(1) 活動のねらい

- ・ 自分たちだけで生活する体験を通して、自立・自律や共同の精神を培うとともに、規律の大切さに気づくことができるようにする。
- ・ 長期間家庭から離れて過ごすことを通して、家庭の温かさや家族のありがたさなどを感じ取り、家庭や家族の大切さに気づくことができるようにする。また、家族や友達、宿泊施設や地域の人など、多くの人々への感謝の心、奉仕の心など美しい心を育てる。
- ・ 農村での様々な勤労生産体験や、農家の人とのふれあいを通して、多面的なものの見方や考え方、豊かな感性を育てるとともに自然を大切にすることを育てる。

(2) 全体の指導計画

10月6日 5、6年 油谷青年の家泊

10月7、8日 5、6年 俵山 3、4人ずつが14家庭に分かれての民泊

10月9日 全学年 俵山 縦割り班16班が7旅館に分かれての旅館泊

期 日	体験活動の概要	教育課程上の位置づけ(時数)	期 日	体験活動の概要	教育課程上の位置づけ(時数)
1、2年			5、6年		
10 上旬	事前学習	生活科 (6)	9 下旬	事前学習	総合的な学習の時間 (6)
10/9	ゆずきち収穫体験 川遊び(水辺の教室) 縦割り班ウォークラリー	生活科 (1) 生活科 (2) 特別活動 (1)	10/6	野外炊事 キャンプファイヤー	総合的な学習の時間 (2) 家庭科 (1) 特別活動 (2)
10/10	こんにやく作り 俵山小との交流会	生活科 (1) 特別活動 (1)	10/7	カッター研修 奉仕活動 俵山地域探訪	総合的な学習の時間 (3) 総合的な学習の時間 (1) 総合的な学習の時間 (1)
10 中旬	事後学習	生活科 (4) 国語科 (2)	10/8	民泊家庭での農業体験 (野菜・ゆずきち収穫、 そば・こんにやく作り、 家畜の世話、など)	総合的な学習の時間 (7)
3年			10/9	孟宗竹ごはん作り 川釣り・山野めぐり 縦割り班ウォークラリー	総合的な学習の時間 (1) 家庭科 (1) 総合的な学習の時間 (1) 特別活動 (1)
10 上旬	事前学習	総合的な学習の時間 (3)	10/10	奉仕活動 住職講話・登山	総合的な学習の時間 (1) 総合的な学習の時間 (2)
10/9	野菜収穫体験 ちぎり絵体験 縦割り班ウォークラリー	総合的な学習の時間 (1) 総合的な学習の時間 (1) 図工 (1) 特別活動 (1)	10 中旬	事後学習 か ら 11 下旬 ・ 礼状 ・ 思い出を絵で表す ・ 体験活動のまとめ ニュース番組作り 写真集作り	国語科 (2) 図工科 (4) 総合的な学習の時間 (8) 国語科 (4) 総合的な学習の時間 (4)
10/10	自然散策	総合的な学習の時間 (1) 理科 (1)			
10 中旬	事後学習	総合的な学習の時間 (6)			
4年					
10 上旬	事前学習	総合的な学習の時間 (3)			
10/9	つるし柿体験 野菜収穫体験 縦割り班ウォークラリー	総合的な学習の時間 (1) 総合的な学習の時間 (2) 特別活動 (1)			
10/10	農業体験	総合的な学習の時間 (2)			
10 中旬	事後学習	総合的な学習の時間 (6)			

2 活動の実際

(1) 事前指導

- ① 年度初めの学級懇談会を利用した保護者への説明会。(事業の趣旨説明、日程説明等)
- ② 保護者へ児童の健康面・緊急連絡先等についての事前アンケートの実施。
- ③ 参観日を利用した保護者・児童合同の説明会。(研修内容、準備物等の説明)
- ④ 保護者アンケートをもとに養護教諭による児童一人ひとりとの面談。
- ⑤ 児童対象の最終オリエンテーションの実施。
- ⑥ 活動地域の事前調べ学習

(2) 活動の展開 (5、6年生) 於：油谷青年の家、俵山地区

	午前	午後	夜
十月六日(月)	入所式 	スタント練習 野外炊事 	キャンプファイヤー  (油谷青年の家泊)
概要	5年生にとっては初めての野外炊事。班の仲間と協力してカレー作りを行った。釜を焦がしてしまい片付けに悪戦苦闘。所の先生の点検は厳しく、次の日まで持ち越した班もあったが子どもたちにとってはよい経験となった。 夜のキャンプファイヤーは各班とも思考をこらしたスタントを披露し大変盛り上がった。仲間との親睦も深まった。		
十月七日(火)	カッター研修 	奉仕活動 退所式	俵山入村式 地域探訪 
概要	民泊家庭顔合わせ  (民泊)		
概要	カッター研修。艇の仲間と声と気持ちを合わせて必死で漕いだ。 午後から俵山へ移動。地域のみなさんに温かく迎えられ子どもたちもホッとした様子。1時間半ほどの地域探訪で俵山地区を見て回った。その後、民泊先の方々との対面式を済ませ各家庭へと移動。夜は各家庭で楽しく過ごしながら2日間のことや民泊先のことをはがきに書き、自分の家に送った。		
十月八日(水)	民泊家庭先での活動 		
概要	民泊家庭先2、3軒が集まって地区ごとに活動をした。俵山の特産品のゆずきちを収穫し、出荷の手伝いをするグループ、そば打ちやこんにやく作りをするグループ、野菜を収穫したり牛や豚の世話をしたりするグループ、自分たちで作った道具で柿もぎをするグループと、それぞれのグループごとに地区の方の指導を受けて活動した。民泊も2日目、どの子も各家庭に慣れ、家族の一員として過ごした。		

	午前	午後	夜
十月九日(木)	孟宗竹ごはん作り  (1~4年生入村) 1、2年 ゆずきち収穫体験 3年 野菜収穫体験 4年 つるし柿体験	川釣り、山野めぐり  縦割り班で昼食   1、2年 川遊び 3年 ちぎり絵体験 4年 野菜収穫体験	縦割り班ウォークラリー  (縦割り班で旅館泊)
概要	<p>民泊家庭でお世話になったお礼に奉仕活動をし、公民館に集合。昼前に到着する1~4年生のために孟宗竹ごはん作りを行った。みんなで河原で食べたご飯は格別の味だった。</p> <p>午後は事前を選択しておいた川釣りや山野めぐりに分かれて活動した。</p> <p>夜は縦割り班で温泉街をウォークラリー形式で回った。高学年は低学年の手を引きながらポイントを回り、学年ごとに設定された問題を解いて行った。</p> <p>宿泊は7つの旅館に分かれたが、ここでも高学年が下学年の面倒をよく見、縦の関係がより深まったようだった。</p>		
十月十日(金)	奉仕活動 住職講話・登山  1、2年 こんにやく作り 俵山小との交流会	退村式  3年 自然散策 4年 農業体験	 たくさんの方々に お見送りをさせていただきました。
概要	<p>お世話になった旅館をきれいにし、荷物を持って公民館へ。能満寺住職のお話を聞いた後、班ごとに登山に出発。</p> <p>88のお地藏さんを探しながら山をぐるりと一周して回った。</p> <p>昼食は全校そろってボランティアの学生や地域の方々と一緒にくりご飯と猪鍋を食べた。退村式では各学年の代表がお礼の言葉を述べた。多くの地域の方々に見送られて俵山を後にした。</p>		

(3) 事後指導

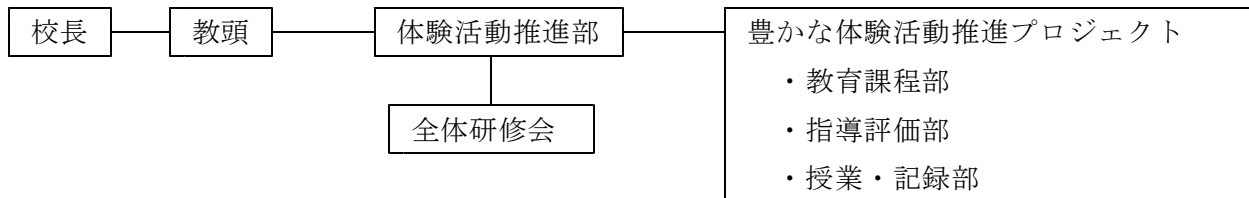
- ふれあい体験活動の振り返りを行い、学んだことを作文や掲示資料、絵にまとめた。
- お世話になった青年の家・民泊家庭・旅館・学生ボランティアなどへお礼の手紙を送った。
- パソコンを使って児童一人ひとりの思い出のアルバム作りをした。
- 今回の体験活動の中から一番伝えたい活動を選び、ニュース番組形式にまとめ、発表会を行いDVDに編集した。編集したDVDは各家庭、活動地域に配付した。

3 体験活動の実施体制

(1) 学校支援委員会

機関・団体名	
俵山グリーンツーリズム	山口短期大学
長門市経済振興部商工観光課	山口市立大海小学校学校評議員
油谷青年の家	山口市立大海小学校

校内体制



体験活動推進部では、研修の方向付け、各プロジェクトの総括を行う。

全体研修会では、研究主題にかかわる活動内容・方法の適正について検討する。

(2) 配慮事項等

- ・ 体験活動を実施するにあたり、保護者へのお知らせを文書で4回、事前説明会を3回行い、活動への理解と協力を求めた。また、児童の健康状態には特に気を遣い、保護者への事前健康調査をもとに養護教諭が児童一人ひとりと面談を行い健康面・精神面における心配ごとの把握に努めた。さらに、児童一人ひとりの健康状態並びに注意事項を一覧表にまとめ全教職員に配付し、説明会を行い共通理解を図った。
- ・ 全教職員による利用施設や地域の見学、並びに体験内容を実際に行ったり、指導者との打ち合わせを密に行ったりし、児童の安全確保に十分な配慮を行った。

4 体験活動の評価の工夫と指導の改善

- 毎日の活動の最後に、自己評価カード、一日の反省の時間を設け、その日の活動の振り返りを行った。その日のうちに担任が自己評価カードに目を通し、コメントを添えて返すことで活動に対する賞賛や価値付けを行い、次の日の活動への意欲付けを行った。
- 地域担当者と引率者でその日の夕方に反省会、次の日の予定の確認を行った。さらに、引率者は期間中毎晩1日の活動の振り返りと次の日の活動の確認をする時間を設け、共通理解を図った。
- 体験活動後、児童・保護者・学生ボランティア・教職員を対象としたアンケート調査を行い、分析を行った。児童・保護者・学生ボランティアともに高い評価を得た。

5 活動の成果と課題

○ 成果

前年までの2年間の経験を生かし、今年はより幅広い体験活動を仕組むことができた。

長期の宿泊ということもあり、一つ一つの活動を余裕をもって行うことができた。また普段体験することができない様々な体験をすることもできた。農業体験などももちろんであるが、民泊をさせてもらい各家庭で過ごすことで、たくさんの人々に支えられていると感じ、また、家族のありがたさや友達のよさなども感じ取ることができた。さらに、カッター研修や野外炊事など仲間との協力が不可欠な活動を通して、みんなの力で克服することで得られる達成感や、仲間と励まし合ったり仲間から認められたりする連帯感を体感することができた。また、これらの活動は、自分のことや友達のことを見つめ直し、じっくり考えるきっかけとなった。

<体験活動後の児童の感想>

- ・ カッター研修ではみんなで力を合わせてこぎました。ひとりでも力を抜くと進まないのだからみんなで力を合わせることを忘れないでいろいろな活動をしていきたいです。
- ・ 時間を守ったり、みんなと協力できた5日間だった。最後の2日間は下学年のお世話もしっかりできたと思う。
- ・ 自分で一番がんばったところは・・・「協力」かな?と思います。みんなに助けってもらったり、友達を助けたり、いろいろみんなと協力しました。
- ・ 柿の収穫をしたり、牛の世話をしたり、めったにできない体験をすることができた。どれも最後まで一生懸命することができた。
- ・ おじいちゃん、おばあちゃんたちも自分の孫のように接してくれてとてもうれしかった。お手伝いもたくさんして、分からないことは教えてもらいながらすることができた。

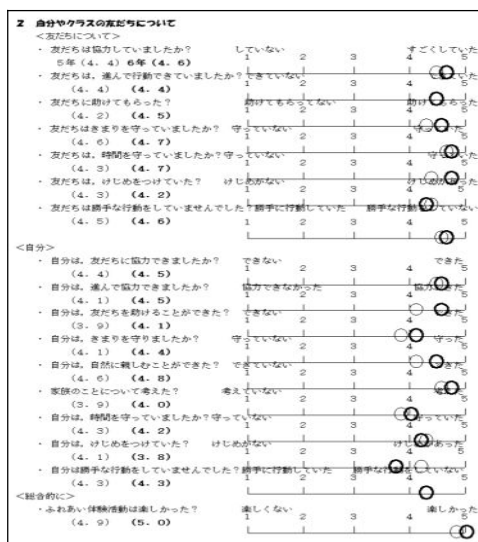
<保護者の感想>

- ・ 貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございました。この体験活動で学んだことは、子どもたちにとって精神面でもよい変化をもたらしてくれるものと思います。
- ・ カッター研修や民泊体験などなかなか体験することができないことをさせていただき感謝しています。帰ってきてからも「もっと泊まりたかった。」と言っていたのでとても楽しく、とても充実していたんだなと思いました。
- ・ 全校で実施したことはとてもよかったと思います。上級生が下級生のお世話をするのでよい勉強になったと思います。
- ・ 子どもが成長したように思える大変よい経験になったと思います。全校で継続できるといいと思います。
- ・ たくさんの方々に協力していただいて無事に終わることができ感謝しております。子どもたちもいろいろと助け合いながら過ごすことができたように思います。周りの方々への感謝の気持ちをもってくれたらと思います。
- ・ 最初は1、2年生も宿泊することに少し不安でしたが子どもたちはそんなにひ弱ではなく子どもたちのたくましさを感じることができました。

○ 課題

来年度の活動内容については経費の面から大きな見直しをする必要があり、学校、保護者、関係各所との連携や協力体制をより綿密に図っていく必要がある。

体験活動が一過性のものにならないためにも、児童が今回の体験活動等で得た力を普通の学校生活で発揮していける機会やそれらの力を効果的に発揮するにはどうすればよいかについても考えていく必要がある。



○の

太字6年
細字5年